

夢の街マイアミ 不動産投資事情

コアラ社長の

マイアミは南米の玄関
口と言われるだけであ
り、南米およびカリブ海
周辺諸国からの移民も多
い。キューバはマイアミ
から145キロ近い。1
959年のキューバ革命
以後10万人を超える移民
がマイアミに押し寄せ、
それによって一時は治安
も悪化した。今ではキ
ューバ系アメリカ人はマ
イアミにしっかりと融合
している。

筆者も週一で楽しむキ
ューバ料理は、10日前後
で市内至る所で食べるこ
とができる。見た目はま
るでぜんざいの黒豆のス
ープをライスにかけ、焼
いたチキンと焼バナナが
定番だ。マイアミにはリ
トルハバナと呼ばれるキ
ューバ人がつくった街も
存在する。ここでは昼間
から野外で卓を囲みドミ
ノを楽しむ風景も見られ
る。仕事上、中南米出身
の人との交流が不可避で
あるため、本や映画など
で周辺諸国の知識を得る必要
がある。今回は、地理的・歴
史的にも関連が深いキューバ
に関してお伝えする。

革命家、マイアミ居住者には不人気？

キューバはアメリカのお膝
元にあつて「カリブ海の赤い
島」と呼ばれる社会主義の国
である。2008年配給のス
ピルバーグ監督の米・仏・西
合作映画「チェ28歳の革命」
はドキュメンタリータッチで
キューバ革命を正確に再現し
ている。筆者も09年に日本の
映画館で観ている。

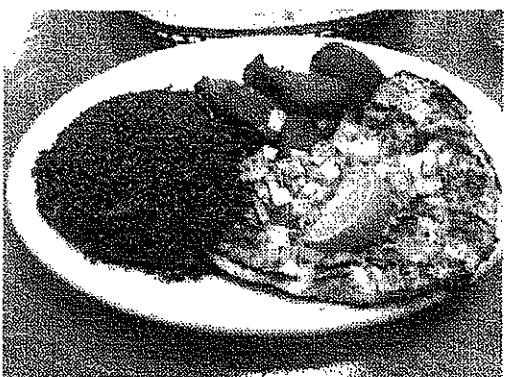
先日この映画について親し
くしているキューバ系アメリ
カン2世で銀行マンのデイビ
ッドと会話をする機会があつ
た。南米諸国では革命家とし
てカリスマ的人気のチェであ
るが、彼はあまりいい顔をし
ない。チェは、大変頭脳明晰
であるが少しクレイジーな面
もあると。デイビッドは19

52年のクーデターによ
るパディスタ政権を1度
目の革命、一般的に言わ
れるチェ・ゲバラ、元・
現議長のフィデルとラウ
ルのカストロ兄弟が中心
になって起こしたキュー
バ革命を2度目の革命で
あると呼ぶ。親米であつ
たパディスタ政権と関係
が深かったデイビッドの
親族はチェによる厳しい
制裁を受けたと神妙な面
持ちで話してくれた。

たしかに結果的に反米
路線となったカストロ政
権を快く思っていないキ
ューバ人達がマイアミへ
亡命してきたと考えるの
が妥当であろう。親日家
であり、ギネス記録とな
っている147回もの暗
殺計画があつたフィデ
ル、革命家として世界を
渡りゲリラの戦場で命を
落としたチェ。どちらも
ある一定の評価をされて
いる豪傑だが、マイアミ
在住のキューバ人達には
不人気のようだ。

ちなみに、「ゲリラ戦争」
は医師でありゲリラ戦のプロ
でもあるチェが書いた本であ
り、ゲリラ戦における戦略・

戦術に関して非常に詳しく
書かれている。戦争か
ら導き出された「ランチ
ェスター戦略」に相通ず
るものがある。なお、ラ
ンチェスター戦略の経営
実務に関しては自書「コ
アラ社長の経営戦略」
(週刊住宅)で詳しく述
べているので合わせて参
考にしたい。 (小原隆浩)



キューバ料理